

開講科目名 / Course	カウンセリング論	
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期 / Second	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	関根 剛	
担当教員名 / Instructor	関根 剛	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	カウンセリングの基礎となる理論とカウンセリングスキルを学び、看護や保健室など、実際の場面で適切なコミュニケーションができる基礎を作ることを目的とする。カウンセリングスキルでは、スキルの解説とロールプレイを通じてのスキルの修得を目指す。カウンセリング理論ではカウンセリングの主要な考え方と技法について理解する。さらに、PTSDと惨事ストレスについて知り、患者や児童生徒、医療者や教職員自身の心を守る方法を知る。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. カウンセリングの基礎的なスキルを理解し、それぞれのスキルを説明できる。 2. ロールプレイを行って、10分以上会話を継続し、複数回のあいづち、繰り返し、開いた質問、言い換えをして、最後に要約ができる。 3. ロールプレイを通じて、自分のコミュニケーションの癖に気づいて、記述することができる。 4. カウンセリングの理論が看護や保健室などの場面でどのように役立つのか説明できる。 	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、3.看護の基盤となる専門知識・技能	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. カウンセリングの考え方：健康相談や悩みなどについて聴くことの意味 02. カウンセリング・スキル（1）：あいづち、繰り返し、質問 03. カウンセリング・スキル（2）：要約、言い換え 04. カウンセリング理論（1）：来談者中心療法 05. カウンセリング理論（2）：認知行動療法 06. ロールプレイ（1）：丁寧に聴く・理解する 07. ロールプレイ（2）：共感する 08. PTSDと惨事ストレス：患者・児童生徒と看護職自身の心を守る 	
その他の授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイを通じて、コミュニケーションスキルを体験的に理解する。 ・視聴覚教材を用いて、体験的にカウンセリングを理解する。 ・理論の解説に終わらず、看護や実生活での実践につなげて考えられる機会とする。 ・前回の学習の疑問点などについて、回答をする時間を持つ。 ・毎回、簡単な小テストを行う。 ・任意のミニレポートを随時提出させる。 	
時間外学修	<ul style="list-style-type: none"> ・講義と関連する情報を提供し、精読・視聴することを促す（11h）。 ・カウンセリングスキルについて、日常生活の中で観察したレポート等で、講義内容の深化を図る（11h）。 	
評価方法と評価割合	毎回の知識確認テストやミニレポート6割、総合レポート4割。	
テキスト	テキストは使用せず、毎回、ハンドアウトを配布する。	
参考書	プロカウンセラーの聞く技術（東山紘久、創元社）	
履修する上で必要な要件		
その他	ロールプレイは自らが行動して初めて理解を得られるものです。積極的に関わるようにしてみてください。	
教員の実務経験	有・無	有
	内容	関根剛：臨床心理士、電話相談SV
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	ボランティア等へのカウンセリング指導経験を活かし、初学者のカウンセリングスキルの解説、ロールプレイ指導を効果的に行う。	